

## 新たな県産種雄牛「<sup>つばさまんかい</sup>翼満開」の能力と特長

山形県農業総合研究センター畜産研究所

### 研究のねらい

「総称山形牛」のブランド力の向上と県内肉用牛経営の安定に資するため、遺伝的に優れた能力を持つ雄牛と雌牛を交配して生まれた雄子牛の中から、高い評価の枝肉生産が期待できる新たな県産種雄牛「翼満開」を選抜した。

### 研究の成果

- ① 「翼満開」は脂肪交雑と枝肉重量に関して高い能力を有しており（表1）、肉質等級4等級以上の割合が歴代県産種雄牛で最高、脂肪交雑（BMS No.）では歴代2位の成績である。
- ② 2017年に開催された第11回全国和牛能力共進会「若雄の部」において優等に入賞するとともに、歴代県産種雄牛の中で体型審査得点が87.1と最も高く、種牛性にも優れている。

\* ロース芯面積：ロース肉の中心となる胸最長筋の第6～7肋骨間切開面での面積。

脂肪交雑：筋肉（赤身）に入り込んだ脂肪の程度、霜降り度合。BMSナンバー（1～12）で表す。

表1 産子の枝肉成績

頭数	出荷月齢 (月)	枝肉重量 (kg)	ロース芯面積 (cm <sup>2</sup> )	バラ厚さ (cm)	皮下脂肪厚 (cm)	推定歩留 (%)	脂肪交雑 (BMS No.)	肉質等級 4・5割合
18 (去勢13、雌5)	30.6 ± 0.5	504 ± 42	63.8 ± 9.4	8.7 ± 0.9	2.9 ± 0.7	74.6 ± 1.5	8.7 ± 1.8	100%



図1 「翼満開」

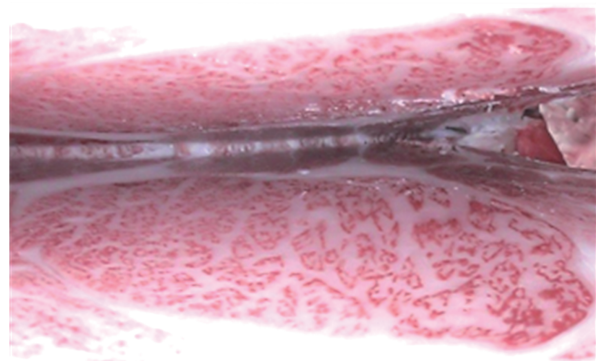


図2 「翼満開」産子のロース芯断面

問い合わせ先：

畜産研究所家畜改良部 TEL:0233-23-8815 E-mail:ychikusanken@pref.yamagata.jp